

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	佐賀県立伊万里農林高等学校(【新設】佐賀県立伊万里実業高等学校 農林キャンパス)
-----	--

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・服装頭髪を含めたマナー指導の取り組み、基礎学力の向上と定着など工夫や改善を要するものがある。 ・再編統合1年目であり、両キャンパス連携を図り学校運営を行ったが、一体感の醸成については今後も対応していかなければならない。 ・両キャンパス統一の基準はあるものの、運用については詳細を詰める必要があることもわかってきた。 ・従来の取組を引き継ぎながらも、新設高校の魅力づくりとして、両キャンパスの良さを尊重した新たな取組が必要である。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>○知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指すとともに、農業教育を通して豊かな心・勤労観・職業観を育み、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。</p> <p>○初代校長が示された「綱領」5か条(至誠一貫、勤労の習慣、敢為進取、規律遵守、心身鍛錬)を基本とする学校生活づくりをめざす。</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>◆スローガン「農林マナーアップ宣言」～挨拶・服装・学ぶ姿勢マナーアップ～</p> <p>◇本校教育活動の基本姿勢「汗をかき・人とつながり・心を磨く」</p> <p>○基本的な生活習慣の確立と「挨拶・身だしなみ・学ぶ姿勢」の向上を図る。</p> <p>○学校・学科の魅力づくりを推進し、地域からの信頼づくりに努める。</p> <p>○校舎制による円滑な学校運営を図るため、次年度を見据えた行事・業務の精練を随時行っていく。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標(数値目標)	
●学力の向上	○「朝学習の時間」の充実と学ぶ意識の向上	○朝学習の時間に主体的に取り組む生徒の意識調査を行い、その割合を90%以上にする ○全生徒の年間での小テスト平均点を70点以上にする ○教室、実験実習の整理整頓及び掃除指導の徹底	・「朝学習」「朝読書」「小テスト」を年間計画の中に組み入れ、効果的な朝の学習体系を確立する ・日々の掃除指導の徹底(時間厳守と的確な指示)
	○学びの場の整理整頓 ○授業力の向上と授業改善 ○教員の専門性の向上	○授業時間の厳守 ○各学科における特色ある学習活動や取組の推進 ○専門教科に関連する資格取得の推進 ○教員の意識調査を行い、専門性が向上した教員を7割以上とする	・授業開始時間の徹底と教員相互間の声かけ ・生徒の興味関心を高める授業・実習の推進 ・専門教科資格の周知を図り、資格補習を実施する ・相互間の授業参観や専門性を高める研修会の実施
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ボランティア活動、他校種・異年齢交流による「豊かな心」の育成 ○農業教育を通じた「生命尊重の心」と「協働する心」の育成	・地域連携の取組やボランティア活動で地域の方々と触れあう ・人権・同和教育の講演会やHRをととして、人間性豊かな生徒の育成を図る ・ケース会議の開催、情報共有
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていないと回答した教員を90%以上とする ○いじめを許さない雰囲気づくりと意識の向上を図るため、アンケートを毎学期に1回以上行う	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う ・LHRでいじめ防止標語作成を行い、いじめを許さない雰囲気づくりに努める ・初期のいじめ事象発見に努め、いじめ防止と人権尊重についての指導の徹底
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒を80%以上 ○県内(地元へ)の就職率の向上と地域を支える人材の育成	・各地域の郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む ・県内企業説明会への参加、県内企業への会社訪問を通じ、求人依頼を通じ、地元への就職率の向上と地域を支える人材の育成
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上 ○朝食をとって登校する生徒90%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・毎月1回の保健だよりの発行 ・保護者への個別の連絡
	○感染症予防に向けた危機意識の向上	○危機意識向上のための資料や掲示物の工夫と感染予防器具の整備	・eメッセージを活用した最新情報や注意喚起を行う ・感染予防に必要な物品の整備
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する ○業務効率化の意識向上、メリハリをつけた業務実践 ○ワークライフバランスの実践	・時間外勤務の縮減のため、業務の分散化と協力体制の構築 ・定時退勤日を毎週水曜日に設定する ・夏休み期間に学校閉庁日を4日間設定する ・部活動休業日を平日1日、休日1日と設定する
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標(数値目標)	
○基本的な生活習慣の確立とマナーの向上	○授業におけるルール(約束事)の確立 ○学校生活全般を通じた「学ぶ姿勢」の確立	○基本的な生活習慣の確立とマナーの向上 ○自己決定の場を与える ○自己存在感を与える ○共感的人間関係を育成する	・挨拶・身だしなみマナーの向上 ・分掌・教科・学年団が連携して指導の充実とクラス全体の雰囲気づくりに努め、事後指導の充実・徹底を図る ・生徒への積極的な声かけや関わりを通じた関係づくり
○魅力ある学科づくりと地域とのつながりの推進	○農林業の実習や商品開発・販売実習の充実 ○地域と連携した活動・交流活動の推進	○学科の専門学習への興味関心度80%以上をめざす ○農業文化祭や学校開放講座を充実させ来校者・参加者数の昨年比10%増加をめざす	・地域へのタイムリーな学校情報の発信(HP等) ・地域と連携した活動(新商品開発ほか)や交流活動等の推進
○校舎制による円滑な学校運営	○ひとつの学校としての一体感の醸成 ○次年度を見据えた行事・業務の精練を随時行う	○両キャンパスの生徒職員が一体感をもって、教育活動や指導支援に取り組むようにする ○次年度の行事・業務の50%のマニュアル化を図る	・新設高校の校訓・校歌の浸透、目的・効果や生徒の意識を踏まえた合同行事の開催と部活動の振興、両キャンパスを跨いだ授業担当の推進 ・今年度の行事・業務終了ごとに、次年度計画を立案する

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育